

# 高校ベンチャー留学2016～第10期生～

4日間の出会いがあなたの人生を変える！

★期	間	平成28年8月1日(月)～8月4日(木)
★参	加	今治市の高校生 8名
★内	容	8月1日(月)～8月3日(水) 関東のふるさと企業2社、日本でいちばん大切にしたい会社へ 選ばれた3社へ訪問。
		8月4日(木) 今治地域地場産業振興センターにて成果発表会

## プログラム

タイムスケジュール	
2016年8月1日(月) 高校ベンチャー留学 1日目(東京)	
時間	内容
【留学ゼミ1】 13:30～ 15:30	株式会社アイエスエフネットへ訪問 代表取締役社長/渡邊 幸義 氏  
【留学ゼミ2】 16:00～ 18:00	サイボウズ株式会社へ訪問 代表取締役社長/青野 慶久 氏  

2016年8月2日(火) 高校ベンチャー留学 2日目(東京・横浜)

時間	内容
<p>【留学ゼミ3】 10:00~ 11:30</p>	<p>株式会社ゲットイットへ訪問 代表取締役/廣田 優輝 氏</p> 
<p>【留学ゼミ4】 14:00~ 16:00</p>	<p>株式会社カヤックへ訪問 代表取締役CEO/柳澤 大輔 氏</p> 
<p>【振り返り】 18:00~ 20:00</p>	<p>公益財団法人 東予育英会 東予学舎</p> 

2016年8月3日(水) 高校ベンチャー留学 3日目(東京)

時間	内容
<p>【留学ゼミ5】 10:00~ 12:00</p>	<p>パイプドHD株式会社へ訪問 代表取締役社長/佐谷 宣昭 氏</p> 

時間	内容
<p>【成果発表会】 14:00~ 15:00</p>	<p>東京で出会った社長との対話で、自分の目指す将来には何が必要かを深く考え、目的達成のための計画表「自分プロジェクト」を作りました。それをプレゼン形式でコメンテーターの方や保護者の方の前で発表しました。</p>      

## 高校ベンチャー留学に参加して、東京の社長さんと出会ってどう感じましたか？



今治東中等教育学校 6年生

曾我 太雅くん

青野社長、先日はお忙しい中私たちベンチャー留学参加者のためにお時間を割いていただき、ありがとうございました。「運動会でグループをまとめるにはどうすればいいか。」という質問に答えていただきしっかりとチームをまとめ、いい運動会にする方法を改めて考えることができました。チームみんなが楽しめるように、さらに、優勝できるように、真剣に取り組んでいきたいと思います。本当にありがとうございました。



今治東中等教育学校 6年生

阿部 史恵理さん

私は面白法人カヤックの柳澤社長のお話で一番印象に残ったのが、成功する人はどういう人かというお話です。柳澤社長によると、当たる人とは当たり方がわかる人のこと。だけど一回で当たる人はいない。だから当たる素質のある人は失敗を恐れずくじけない人だということでした。一回の失敗で諦めてしまう人は多いと思います。私もその一人です。だけど今回のベンチャー留学で失敗とは自分を強くしてくれるものだと思うようになりました。



今治東中等教育学校 6年生

曾我部 海青くん

私は、機械の構造を考えたり組み立てたりすることが好きです。ゲットイットさんを見学して、ハードウェアの面で機械の技術をITの世界でも活かすことができると気付くことができ、新たにPCにも興味を持つようになりました。社員の方は「同じものを二度作ることはない。」と仰っていたり、廣田社長が社員と対等な企業づくりをされていたりと、社員それぞれが自由な発想と挑戦ができる環境があり、すごい企業だと感じました。



今治東中等教育学校 6年生

田中 大成くん

私は研究者になって新素材を開発するという夢があります。これはベンチャー留学に参加する前も参加した後も変わっていません。しかし、理由が変わりました。参加する前は、自分が化学が好きだからそれを仕事にしたいという理由でした。でも、社長の方々は誰かの為、世の中の為を想って仕事をしておられました。だから私も、科学の発展に貢献し、人々の暮らしをもっと快適にしたいと思うようになりました。そのためには、人との縁を大事にすることが大切だということも学びました。ベンチャー留学に参加して得たモノは一生モノです。今回学んだことを活かして、これからの人生をより良い物にしていきます。



今治東中等教育学校 6年生

竹田 涼力くん

私は、こんなにも就労困難者を雇用している会社があるのを知りませんでした。話を聞く前は、リスクがあるのではないかと感じていました。しかし、社長の話を聞いて考え方が変わりました。その中でも印象に残っていることは、一人一人のできることできないことをうまく判断し、その人に合う仕事をしてもらっているということです。そうすることにより、毎日充実し、社員からの信頼も得られていると思います。有難うございました。



今治東中等教育学校 5年生

大内 雄登くん

私がとても考えさせられたことは失敗を恐れないということです。パイブドHDの佐谷社長は夢や目標は無理に持つものではないとおっしゃっていました。私は、高校二年生なので将来自分はどのようなことをするのかをいずれは決まることになると思います。しかし、すべてのことは計画どおりにはいかないことが多いので、今できることに一生懸命に取り組みたいです。



今治西高等学校 1年生

馬場 悠輔くん

社長さんのお話を聞いて、友達や友達の意見を大切にしたいと感じました。今までは、自分の意見を一方的に相手につきつけることが多かったのですが、これからは周りの意見をきいて、他人の考えを尊重したり、自分の考えにしていこうにしたいです。また、ユニークな政策で会社の雰囲気良くするなど、見習うところがたくさんありました。僕も友達と一緒に会社を作りたいと思っているので、とても勉強になりました。



今治北高等学校 1年生

阿部 力輝くん

5つの会社の社長の話を聞いて思っていることは、どの社長も、社員を大事にしているという所です。カヤツクの社長の柳澤さんが言っていたように、会社は大きくなるものなので、やはり社員との繋がりが重要なのだと実感した。社員と繋がるために、多くの会社が、社員同士、社長と社員とのしきりを立てていませんでした。そして、それぞれの会社で、働きやすいようにたくさんのルールをつくる、各自ですることを選ばせるなど特有の仕組みも作っていました。いずれも社員の考えを尊重するというものでした。相手の考えを知るためには、コミュニケーション能力が必要だと感じました。この留学を通して、得たものは、これからの私の人生に役立ってます。

## 世界で一番使われるグループウェアメーカー サイボウズ株式会社 代表取締役社長 青野 慶久 氏

『高校ベンチャー留学2016』新聞 2016.8/1〜8/4  
主催・今治地域地場産業振興センター

社長と名刺交換



上左から  
今治東中等教育学校6年生  
曾我部 海青くん  
今治東中等教育学校6年生  
田中 大成くん  
今治北高等学校1年生  
阿部 力輝くん  
下左から  
今治東中等教育学校6年生  
阿部 史恵理さん  
今治東中等教育学校6年生  
竹田 涼力くん  
今治東中等教育学校6年生  
曾我 太雅くん  
サイボウズ株式会社  
代表取締役社長  
青野 慶久 氏  
今治西高等学校1年生  
馬場 悠輔くん  
今治東中等教育学校5年生  
大内 雄登くん

### 「真剣と覚悟」

社長のお話で一番大事にしたいと思ったのは、真剣という言葉のお話です。自分の命をかけることやものだけにしぼり、命をかけるぐらいの覚悟をもって取り組むというものでした。これはこれからの人生で選択するとき、大事なことだと感じました。また、普段からその意識をもつことで無駄を減らし、大事なことに全力で尽くせることも感じました。その他のお話もとても印象に残りました。この経験を生かしていきたいです。  
(馬場悠輔)

### 「チームワーク」

青野社長、先日はお忙しい中私たちベンチャー留学参加者のためにお時間を割いていただき、ありがとうございます。また「運動会でグループをまとめるにはどうすればいいか？」という質問に答えていただき、しっかりとチームをまとめ、いい運動会にする方法を改めて考えることができました。チームみんなが楽しめるように、さらに、優勝できるように、真剣に取り組んでいきたいと思えます。本当にありがとうございます。  
(曾我太雅)

### 「真剣」

私は、「真剣」という言葉の意味を深く考えず何気なく使っていました。真剣とは本物の刃であり、真剣に取り組みとは死ぬ覚悟すなわち命をかけて取り組むことであると、青野社長から学ぶことができました。今までの言葉の使い方を悔い改め、本来の意味を胸に刻み、これから数多く直面するだろう試練に対して真剣に取り組み乗り越えてゆきたいと思えます。この度は良い経験をさせていただきました。  
(田中大成)



### 「覚悟をもつ」

私が一番印象に残っていることは、社長になり、うまく行かなかった時に、死ぬ気で腹をくりくり仕事をしたと聞いた時、やはり成功している人は人並みでない苦労と努力をし、覚悟をもってそのことに打ち込んでいたのだと改めて気づかされました。私に足りないのは、なんとなくやっていると多いため、もっと明確にし、覚悟して何事もやりたいです。社員の人はとてもイキイキと仕事をしています。会社だと私でもわかりました。  
(竹田涼力)



「一人一秒のプレゼント」を  
株式会社アイエスエフネット 代表取締役社長 渡邊 幸義 氏



「一人一人に合う仕事を」  
私は、こんなにも就労困難者を雇用している会社があるのを知りませんでした。話を聞く前は、リスクがあるのではないかと思っていました。しかし、社長の話を聞いて考え方が変わりました。その中でも印象に残っていることは、一人一人の得意なことできないことをうまく判断し、その人に合う仕事をしてもらっているということです。そうすることにより、毎日充実し、社員からの信頼も得られていると思います。有難うございました。

(竹田涼力)



手づくり  
ウェルカムボード  
&  
手づくりの  
しおり



「社会のことも考える」  
ISFNETの渡邊社長のお話を聞いて、会社のことだけでなく、社会のことを考えていられたいと思います。働きたくても働くことができない人を雇用することで、より社会全体が良くなると聞き、社会全体が良くなるという事は、会社も働く人にとっても嬉しいことなのだと思いました。また人を雇用する時にその人の能力ややる気を採用していることが素晴らしいと思えました。

(大内雄登)

動く社長でありたい！  
株式会社ゲットイット 代表取締役 廣田 優輝 氏

「自由な発想」  
私は、機械の構造を考へたり組み立てたりすることが好きです。ゲットイットさんを見学して、ハードウェアの面で機械の技術をITの世界でも活かすことができるかと気が付くことができ、新たにPCにも興味を持つようになりました。社員の方は「同じものを二度作ることはない。」と仰っていたり、廣田社長が社員と対等な企業づくりをされていたり、社員それぞれが自由な発想と挑戦ができる環境があり、すごい企業だと感じました。

(曾我部海青)



「チームの事を一番に」  
廣田社長、先日はお忙しい中私たちがベンチャー留学参加者のためにお時間を割いていただき、ありがとうございました。利益が一番ではなく、チームのことを一番に、というお考えはとても素晴らしいことだと感じました。そして、社員が幸せに働ける会社こそが、お客様に喜ばれるものを提供できるのだとわかりました。私も将来、社員にもお客様にも幸せを与えられる会社をつくらうと思っていました。本当にありがとうございました。

(曾我太雅)

つくる人をふやす！

株式会社カヤック 代表取締役CEO 柳澤 大輔 氏



「成功する人とは」  
私は面白人カヤックの柳澤社長のお話で一番印象に残ったのが、成功する人はどういう人かというお話です。柳澤社長によると、当たる人とは当たり方がわかる人のこと。だけど一回で当たる人はいない。だから当たる素質のある人は失敗を恐れずくじけない人だということでした。一回の失敗で諦めてしまう人は多いと思います。私もその一人です。だけど今回のベンチャー留学で失敗とは自分を強くしてくれるものだと思うようになりました。

(阿部史恵理)



「友達を大切に」

社長さんのお話を聞いて、友達や友達の意見を大切にしたいと感じました。今までは自分の意見を一方的に相手につきつけることが多かったのですが、これからは周りの意見をきいて、他人の考えを尊重したり、自分の考えにしていこうにしたいです。また、ユニークな政策で会社の雰囲気や人を良くするなど、見習うところがたくさんありました。僕も友達と一緒に会社を作りたいと思っていますので、とても勉強になりました。

(馬場悠輔)



国境を超える企業に！

パイプドHD株式会社 代表取締役社長 佐谷 宣昭 氏



「仲間を大事に」

私がパイプドHD株式会社にて衝撃を受けたことは、計画をしてそのままに動く人は失敗することがあるという事です。周りの人に柔軟に合わせた方が良くと佐谷社長はおっしゃいました。その後の説明で納得できました。計画を持って進んでいる人には、似た志を持った人が近づいてくるため、その仲間を大事にするという事です。自分の計画を持ちながら一人で進まずに周りとの出会いを大事にするべきだと習いました。

(阿部力輝)

「失敗を恐れない」

私がとても考えさせられたことは失敗を恐れないということ。パイプドHDの佐谷社長は夢や目標は無理に持つものではないとおっしゃっていました。私は高校二年生なので将来自分はどうなるかを考えるのかをいずれば決めることになると思います。しかし、すべてのことは計画どおりにはいかないことが多いので、今できることに一生懸命に取り組みたいです。

(大内雄登)

「たまたまや偶然を大切に」  
私が、佐谷社長のお話で一番印象に残ったのは、ブランドハップンスタンス、たまたまや偶然を大切にするという事です。自分の目標をただ追いかけるだけでなく、その過程での出来事や人との出会いを大切にしてい、豊かな感性を身につけようと思えました。そして将来は、それを活かして、都心だけではなく、地方だからこそできる産業を見つけ、今治で育った人が今治に誇りを持ち、帰ってきたくなるような地域を作っていこうと思えます。

(曾我部海青)

「自分がどうしたいのか」

パイプドHD株式会社の佐谷社長が仰った、「失敗を恐れないときは、準備をしっかりとしないと失敗しないようにすればいいだけだ」という言葉にはっとさせられました。私は普段から失敗を恐れて緊張しがちです。でも、それは自分の中途半端な準備からくるものだと気づくことができました。自分自身がどうしたいのかをしっかりと考え、しっかりと準備をして、未来に向けて様々なことにチャレンジして経験を積んでいきたいです。

(阿部史恵理)

# 高校ベンチャー留学2016 公益財団法人 東予育英会 東予学舎



◇東予学舎の食堂を利用し、振り返りを  
実施しました。



東予学舎：愛媛県東予地区の高校を卒業し、関東へ進学し入学見込の  
男子学生が利用できる学生寮。

## 高校ベンチャー留学2016 成果発表会



東京で出会った社長との対話で、自分の目指す将来には何が必要か深く考え、目的達成のための計画表「自分プロジェクト」を作りました。それをプレゼン形式でコメントーターの方や保護者方の前で発表しました。

### 「社員との繋がり」

5つの会社の社長の話を聞いて思ったことは、どの社長も、社員を大切にしているという所です。カヤックの社長の柳澤さんが言うていたように、会社は大きくなるものなので、やはり社員との繋がりが重要なのだと実感した。社員と繋がるために、多くの会社が、社員同士、社長と社員とのしきりを立てていませんでした。そして、それぞれの会社で、働きやすいようにたくさんのルールをつくる、各自ですることを選ぶなど特有の仕組みを作っていました。いずれも社員の考えを尊重するというものでした。相手の考えを知るためには、コミュニケーション能力が必要だと感じました。この留学を通して得たものは、これからの私の人生に役立てます。

(阿部力輝)

### 「人との縁」

私は研究者になって新素材を開発するとう夢があります。これはベンチャー留学に参加する前も参加した後も変わっていません。しかし、理由が変わりました。参加する前は自分が化学が好きだからそれを仕事にしたいという理由でした。でも、社長の方々は誰かの為、世の中の為を想って仕事をしておられました。だから私も、科学の発展に貢献し、人々の暮らしをもっと快適にしたいと思うようになりました。そのためには、人との縁を大事にすることが大切だということも学びました。ベンチャー留学に参加して得たものは一生モノです。今回学んだことを活かして、これからの人生をより良い物にしていきます。

(田中大成)